

平成18年6月20日、試験機関の（財）全国建設研修センターのホームページ上にて下記内容の案内が発表されました。

■ 2級土木施工管理技術検定実地試験出題内容の一部変更のお知らせ

2級土木施工管理技術検定実地試験における、「経験した土木工事」について、平成18年度より、次のとおり一部変更しますのでお知らせします。

- 1 「経験した土木工事」は、受験者が工事請負者の技術者の場合は、受験者の所属会社が受注した工事について記述して頂きます。従って、受験者の所属会社が二次下請業者の場合は、工事発注者名は一次下請業者名となります。
- 2 筆記試験の内容は、設問で指定する施工管理上の分野（例えば、工程管理等）に関して、受験者の会社が受注した工事で発生した技術的課題、課題解決のための検討内容および現場で実施した対応処置を、各々記述して頂きます。なお、施工管理上の分野については、公共事業の品質や環境への関心が高まる等、公共事業に求められる内容が多様化しているため、今まで以上により幅広い分野から出題することになります。

当研究所発行の『2級土木施工管理技術検定試験問題解説集録版2006年版』は、平成18年3月3日発行のため、前年度までの出題内容に対応した記述となっており、上記の試験機関発表内容とは合致しておりません。

上記発表内容では、例えば施工管理上の分野は、従来の工程管理・品質管理・安全管理等からだけでなく、さらに環境などの幅広い分野にわたることとなっております。また、**施工経験記述** (P343～)「発注者」の欄には以下の点を考慮して記入をしなければなりません。

- ① 「工事を最初の注文者から直接請け負った会社＝工事全体の元請業者」の技術者  
→ 「工事の最初の注文者名」を「発注者」欄に記入
- ② 「元請業者から請け負った会社等＝下請業者」の技術者の場合  
→ 自社が請け負った工事を注文した「建設業者名」を「発注者」欄に記入

例1：自社が1次下請業者の場合は、「工事の最初の注文者から直接請け負った会社名」を「発注者」欄に記入。

例2：自社が2次下請業者の場合は、「1次下請業者名」を「発注者」欄に記入。

なお、出題内容の変更により、設問形式・回答の記述様式が変更になることも考えられます。